

キラリ 輝け 山陽中 No.39 (26.08.31) 文責 内海雅章

令和 8 年度 二学期始業式

8 月 31 日（月）二学期に始業式を迎えました。以下校長の式辞からの抜粋です。

二学期の始まりにあたり、皆さんに伝えたいことを、二つ話をします。

まず一つ目は、「違いを認め、活かすこと」です。クラスには、様々な考え方や得意なこと、苦手なことを持った人がいます。「自分はこうしたい」という強い意見を持つ人もいれば、みんなの意見をまとめるのが得意な人もいます。大きな声で場を盛り上げる人もいれば、地道な作業を黙々とこなすことが得意な人もいます。誰もが、自分にしかない個性を持っています。

大切なのは、自分と違う考えを持つ人を否定するのではなく、「そういう考え方もあるんだな」と受け入れることです。そして、それぞれの違いを活かし、役割分担をすることで、一人では成し遂げられない、素晴らしいものが生まれるはずです。

皆さんは、この二学期に、多くの場面で仲間と協力する機会があります。その中で、時には意見がぶつかることもあるでしょう。しかし、それは決して悪いことではありません。違いがあるからこそ、より良いものを創り出せるのです。

二つ目は、残念ながら、学校は楽しいことばかりではありません。時には、心ない言葉を投げかけられたり、無視されたり、時には嫌なことをされたりすることがあるかもしれません。またその多くは、嫌な思いをする側に、ほぼ非がない事です。しかし、どんな理由があっても、いじめや暴力は絶対に許されないことです。いじめは人の心を深く傷つけ、学校から居場所を奪ってしまう、そして、暴力は人の体を傷つけ、安心できるはずの学校を安心できない場所にしてしまいます。皆さんは、この学校の主役です。誰もが安心して、笑顔で過ごせる学校にするために、一人ひとりの力が必要です。もし、誰かがつらい思いをしているのを知ったら、見て見ぬふりをしないでください。みんなの学校はみんなで創り上げてほしい。正しい行動が、やがて大きな力となり、皆さんの夢や目標を叶えるための土台となるでしょう。

最後に、二学期は、中学校生活の中で最も実りの多い時期です。皆さんがこの二学期を終えた時に、「やりきった！」と心から思えるよう、今日からの一日一日を大切に過ごしてください。そして、周りの仲間を大切にし、お互いの違いを認め合い、支え合いながら、最高の二学期を創り上げてください。私は、皆さんの無限の可能性を信じています。

第 76 回関西吹奏楽コンクール

8 月 29 日（土）大阪は堺市にある「フェニーチェ堺」にて、本校吹奏楽部は中学生 A 部門に出場しました。18 時 50 分頃、出場 28 校のなかで 27 番目の演奏でした。



結果は、金賞を受賞しましたが、全国への出場は叶いませんでした。会場から出る頃にはすっかり日が落ち、姫路駅に到着したのは 21 時半頃でした。吹奏楽の皆さんのバスも学校に 22 時頃の到着でした。夏休みの全てを吹奏楽に取り組んだ、顧問をはじめ部員の皆さん、ご苦労様と同時に敬意を表します。この経験はきっとこの先の力になる事と信じています。

この夏休みは、皆さんの追っかけでいろいろな所に行く事ができ、感謝しています。